

Vineland-II 研修会 実践編

(適応行動尺度)

～スコアリングの演習と解釈から支援計画へ～

発達障害の方の支援を考える上では、どういう障害を持っているかという視点ではなく、その人のわかること/わからないこと、できること/できないこと等を把握することが欠かせません。Vineland-IIでは、現在の適応行動(実際に社会生活において発揮できているスキル)の水準を客観的な数値として示すとともに、個々の支援ニーズを把握します。今どこまで何ができているのかを把握することが支援のスタートとなりますので、支援において最も重要な尺度の1つであるのは間違いありません。実践編は、Vineland-II 適応行動尺度を用いるために必要な知識と実施技術の習得を目的としています。

日時 令和5年6月25日(日) 9:30~15:30
(受付:9:00~)

会場 オンライン開催 (Zoom使用)

対象者 発達障害支援に携わる関係者

定員 50名程度

受講料
無料

【講師紹介】 萩原 拓 (はぎわら たく) 氏

北海道教育大学旭川校 特別支援教育分野 教授

<プロフィール>

米国カンザス大学教育学部特殊教育学科博士課程修了, Ph.D. (Special Education)。米国カンザス大学教育学部特殊教育学科自閉症・アスペルガー症候群研究プロジェクトコーディネーターおよび非常勤教員を経て、現職。専門は特別支援教育(発達障害)。臨床発達心理士、ライフステージを通じた、自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害に関する研究、アセスメント、包括的支援、支援者養成等に携わる。日本版Vineland-II(適応行動尺度)の作成に従事。



見本

実践編受講の際は、『Vineland-II適応行動尺度(日本文化科学社)』

マニュアル(1冊)と記録用紙(1部)を、受講者それぞれにご用意ください。

《お問合せ・お申込み先》
宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」
〒981-3213
仙台市泉区南中山5丁目2-1
TEL:022-376-5306
FAX:022-379-5010
e-mail: m-ekubo@abelia.ocn.ne.jp

お申込みはe-mailにてお願いいたします。

チラシの無断転用、web等への掲載はご遠慮ください。

令和5年度 宮城県発達障害者支援センター運営事業
Vineland- II (適応行動尺度) 研修会 **実践編**
受講申込書

宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」行き

e-mail:m-ekubo@abelia.ocn.ne.jp

※本用紙をPDFに変換しメールに添付するか、下記内容に沿ってメールにてお申込みください。

申込日:令和5年 月 日

事業所(機関)名:

電話番号:

所在地:

市・町・村

	ふりがな 氏名	所属(課・係)	職名	経験年数
1				
2				
3				

申込み締切り:令和5年6月15日(木) 17:00

受講決定の際は、メールにてご連絡いたします。

※1 この申込書でお預かりした個人情報は、研修会の運営でのみ使用いたします。

※2 定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。お申込みいただいた時点で定員超過の場合は、その旨ご連絡いたします。

※3 受講が決定された方は、必ず受講者1名につき、マニュアル(1冊)と記録用紙(1部)をご用意ください。

実践編を受講される方に向けて、事前接続テストを行います。希望の有無をお知らせください。日程は受講決定の際にメールでお知らせいたします。

接続テストを

・希望する

・希望しない